

「阿蘇の草原キッズになろう！①秋編」

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
- [共催] 阿蘇草原再生協議会 阿蘇グリーンストック
- [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
- [期 日] 令和2年10月16日（金）【日帰り】
- [活動場所] 阿蘇青少年交流の家・小堀牧野
- [参加者] 一の宮小学校4年生 66名（男子35名、女子31名）
- [講師] 市原 啓吉 氏（町古閑牧野組合 組合長）
田島 今朝信 氏（小堀牧野組合 組合長）
藤田 幸代 氏（環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所アクティブレンジャー）
釜崎 笙 氏（町古閑牧野組合 組合員）
草原ボランティア 6名
- [担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 田中 英祐（事業推進室長）
有木園和志（企画指導専門職） 山川 昇椰（事業推進係係員）
志賀 泰成（事業支援室主任） 米村竜太郎（事業支援室係員）
堀澤亮太郎（事業支援室係員）

1 趣 旨

阿蘇郡市内の子供たちに、阿蘇の草原環境の現状を学ばせると共に、草原維持活動を実際に体験させることで、草原環境保全への意識を高めさせる。また、草原維持に携わる人々との出会いを通して、いろいろな生き方・考え方に気づかせ、地域を愛し、地域をよりよくしようとする心を育成する。

2 目 標

- 阿蘇の草原環境の現状と課題や野焼きが果たす役割を知ることができる。
- 阿蘇の草原環境を守っていくためにどうすればよいか、直接の見学や体験を通して学びながら、自分の考えをもつことができる。

3 事業展開

研修プログラム

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
10月16日 （金）	学校 出発	開 会 式	【体験活動①】 あか牛の エサづくり	【体験活動②】 あか牛とのふれあい （エサやり体験・ メッセージ書き）	草 原 に つ い て の 講 話	草 原 で の 昼 食	【体験活動③】 草泊まり作り	閉 会 式



あか牛のエサづくり



エサやり体験



メッセージ書き



トベガヤづくり



草泊まりづくり



扉づくり

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 「草泊まり作りは、外と中に分かれて皆で作業をしたけど、昔の人はよく少ない人数で頑張ったなと思いながら作りました。」や「牛の舌の感触は柔らかいと思っていたけど、強くて硬いし、ギザギザしていたことがよくわかりました。」などの参加者の感想から、体験を中心とした学習プログラムにしたことで、日常生活ではできない体験を通して、充実した活動ができた様子が見ええた。
- ・ 昨年度に比べて草泊まりの骨組みを小さくしたり、草原ボランティアを6名に増やしたりしたことで、日帰りで限られた時間であったが児童一人ひとりの体験時間の確保ができた。
- ・ プレスリリースの成果として新聞社2社、テレビ局1社の取材を受けた。本事業の意義や価値を広く知ってもらう良い機会となった。

(2) 課題

- ・ 本事業は、阿蘇の子供達に故郷の良さや伝統を伝える上で非常に有意義なものである。今後も事業を継続していく為、関係団体との連携を強めていく必要がある。